

令和7年度 布野中学校 学校経営構想図

○国・広島県三次市教育の重点や動向

MISSION (使命) 自立と共生 ～自ら学ぶ 共に育つ～

1 保護者や地域から信頼される学校

- 共感的人間関係の中で学び合い切磋琢磨して高め合い、学力を高め、15歳の生徒が進路を実現する(中学3年生…自己を認識し、選択し、表現する力)
- 生徒が「学校は楽しい」「力が伸びる」と感じ、自己肯定感が高まり安心して学び、教職員が自己実現できる
- ことばの教育の特色を生かした、感性豊かな人が育つ
- コミュニティ・スクールとして、学校・地域・家庭が協働して、ふるさと布野を誇りに思い、社会に貢献する生徒を育む

2 広島県の「学びの変革」がめざす姿を具現化する学校

- 生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人を育む
- 探究的に学び続ける人を育む

○生徒の実態・課題
○保護者地域の願い

スローガン かがやけ! Funo☆
～ふるさとと 未来を創る 布野中学校

学校教育目標 自立と共生

自らとふるさとに誇りをもち、仲間とともに夢や志に向けて主体的に活動する生徒の育成

《研究主題》主体的・協働的に探究する児童・生徒の育成

～布野 style (問い・対話・振り返り) の授業づくりを通して～

《めざす生徒像》 夢や目標を持ち、その実現に向けて努力・挑戦する生徒(生きて働く知識と技能・意欲)
互いを尊重し、他者と協働できる生徒(社会性)
問いを見つけ、主体的に学び、課題解決する生徒(主体性)
ふるさとに誇りをもち、社会に貢献する生徒(貢献)

☆中学3年生
自分ごとの問いを立て、それを解決するために、試行錯誤(PDCA、自己調整)しながら探究し、見方・考え方を深めたことを表現できる生徒

【繰り返す言葉】調整力
自己指導能力・組織

の調整力
育成

【資質・能力】☆調整力の育成(主)

「調整力」(対話力)「主体性」(自己調整力)

「学びに向かう意欲」とは…自己を認識する力、粘り強く学びを調整する力

1 チームで取り組む学力保障

○学力(基礎・基本、活用力)の確実な定着、向上

- ・授業規律の徹底と授業評価(生徒会代議員による主体的活動)
- ・基礎・基本の定着の徹底
- ・自己学習ノート(自己探究ノート)の継続
- ・読書活動の推進(読書活動推進地域)
- ・短歌・ことばの教育の継続(布野中学校区の特色・強み)
- ・各種検定(英語検定・数学検定・漢字検定)への挑戦
- ・家庭学習の徹底
- ・地域サポーターによる学習支援

習得

2 授業力向上による学力向上

○布野 style (問い・対話・振り返り) を柱に、主体的・協働的に探究する生徒を育てる授業(主体的・対話的で深い学びの授業)を全教科で

- ・「本質的な問い」の設定と発問の精選による深い思考を促す授業
- ・「振り返り」の充実による生徒の自己調整力の向上
- ・生徒指導の実践上の視点(自己決定)(自己存在感)(共感的人間関係)を基盤とした授業
- ・探究的なプロジェクト型学習の単元開発(見方・考え方を深める授業)
- ・個別最適な学び、協働的な学び
- ・計画的な小中合同研修会の実施
- ・小中の教務主任・研究主任の日常的な連携
- ・「みよし結芽人育成研修会」への参加と還元
- ・ICTの活用と他地域とのオンライン授業(視野を広げる、見方・考え方を深める)

活用

3 キャリア教育を柱とした総合的な学習の時間のカリキュラム開発と実働

○自らの学びを調整しながら探究する「探究学習」

- ・カリキュラムの開発(01体験・越境・探究)(三次コア・カリキュラム推進地域)
- ・地域から学び探究する地域探究学習(小学校1年～中学校3年)
- ・9年間を貫く系統的なキャリア教育→とくに、地域に生きる人の熱い思いに学ばせ、自己を認識させ、自らの生き方を考えさせる。そのためにカリキュラム・マネジメントを行う。
- ・社会に開かれた教育課程(社会性の向上)
- ・異年齢交流と積極的な地域貢献活動(郷土愛と誇りを高める)

探究

☆「生徒指導の実践上の視点」を生かした教育活動 ☆特別支援教育 ☆道徳教育

○積極的生徒指導による社会で通用する自己指導能力の育成○生徒指導を徹底「時」「場」「礼」

☆布野小中一貫教育推進協議会

☆小中合同研修

☆業務改善と教職員の自己実現

☆布野中学校区コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の実行→地域とともにある学校